

物理学概論 A 最終レポート問題 (阪上)

2017 年 7 月 24 日

[1] 原発事故と科学的方法

岩波科学シリーズ 216 「原発事故と科学的方法」(牧野淳一郎著)では福島原発事故をとりあげ高度な専門的知識が無くても事故の規模を推定できることが述べられている。これは科学的な思考方法を身につける優れた教材になっている。また事故についての情報発信、事故やそれによる健康被害のリスク評価についての議論も興味深い。

この本を読んでその内容を要約しなさい。また印象に残った内容、重要だと感じた内容について感想を述べなさい。

[2] 講義の感想と評価

おおよそ何回講義に出席したか自己申告した上で、物理学概論 A の感想および評価を書きなさい。出席回数や評価は成績には一切反映させない。

出席回数の少ない人は、なぜ講義に出席しなかったのかどのような理由で興味を引かなかったのかを、率直に書きなさい。

それなりの回数出席した人は、講義のよかった点、悪かった点を書きなさい。またどのような話題に興味を持ったか述べなさい。それから今後扱って欲しい話題があれば述べなさい。

〆切：8月10日(木) 19:00

提出場所 吉田南2号館315号室(阪上研究室)

提出場所が異なるので注意して下さい。

(注意) インターネット上のさまざまなサイトの情報を利用した場合は原則としてその URL を引用すること。それらのサイトの内容やその一部を自分なりに租借することなく、そのままあるいは僅かに改変しただけでレポートに流用した場合は、不可とする。